

# カネカ有機EL照明モジュールSL (LE-01L, LE-02L, LE-03L, LE-01H, LE-02H, LE-03H) 取扱説明書

安全上のご注意	p. 2
1 製品概要	p. 5
2 接続と配線（調光が必要な場合）	p. 8
3 接続と配線（調光が不要な場合）	p. 25
4 照明モジュールSLの設置	p. 29
5 付録・技術仕様等	p. 36

## 使用するお客様ならびに販売店（工事店）様へ

- このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 本製品のご使用に際しては、本書に記載された使用条件、および安全上のご注意を遵守願います。本書に記載の内容、および以下の注意事項を逸脱した本製品の使用に起因する損害に関しては、弊社は一切その責を負いません。
- 本製品の設置、施工に関しては、弊社は一切その責を負いません。設置、施工に関しては販売店（工事店）の責にておこなってくださいますようお願いいたします。交換の際は販売店（工事店）にご相談ください。

## 販売店（工事店）様へ

- 施工が完了しましたら、使用するお客様に対し、安全上の注意事項を説明し、この取扱説明書をお渡してください。
- 設置工事等にあたっては、本書に記載の内容を守り、工事をおこなってください。

# 安全上のご注意

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 <b>警告</b>	この表示の注意事項を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	この表示の注意事項を守らないと、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

次のマークは守っていただきたい内容を説明しています。

 <b>禁止（してはいけないこと）を示します。</b>	 <b>指示に基づく行為の強制（実行していただくこと）を示します。</b>
---	--

## 警告

-  **取り付け、取り外しは工事店に依頼してください。**  
取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。  
本製品の取り付け、取り外しには専門知識と技術が必要なため、工事店にご依頼ください。
-  **次のようなことをおこなわないでください。**
  - ・ 熱器具に近づける
  - ・ 無理に曲げる、ねじる、引っばる
  - ・ 重いものを載せる
  - ・ 照明モジュール SL やハーネスなどを束ねる
  - ・ ステープルなどで固定する器具の故障や、ショート、感電の原因となります。
-  **水洗いや分解、改造をしないでください。**  
火災、感電、故障などの原因となります。
-  **水滴がかかる場所、結露するような場所への設置と使用、および保管をしないでください。**  
また、ぬれた手で触らないでください。  
感電、ショート、故障の原因となります。
-  **紙や布などで覆ったり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。**  
火災、やけどの原因となります。
-  **通電した状態で、本製品の取り付け、取り外しや掃除をしないでください。**  
感電、故障の原因となります。
-  **通電した状態で、給電部に触れたり、給電部の抜き差しをしたりしないでください。**  
感電、故障の原因となります。

- ❗ **コネクタ部分に汚れやほこり、異物がたまらないようにしてください。**  
汚れやほこり、異物がたまると火災や感電、故障の原因となります。

## 注 意

---

- ⊘ **本製品はガラスを使用しています。本製品を落下させたり、ものをぶつかけたり、強く押し  
たり、重いものを載せたりしないでください。**  
破損の原因となり、またけがのおそれがあります。
- ⊘ **急激な加熱や冷却をしないでください。**  
故障、破損の原因となることがあります。
- ⊘ **お手入れの際は有機溶剤やアルカリ性、強酸性、塩素系の洗剤を使用しないでください。**  
強度が低下してしまうため、破損し、感電のおそれがあります。また、変色のおそれがあり  
ます。  
お手入れは乾いたやわらかい布でふき取ってください。  
汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませてよく絞ったやわらかい布で汚れた部分を  
軽くふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- ⊘ **コネクタなどの金属端子部分には直接触れないでください。**  
故障の原因となります。
- ⊘ **点灯中または消灯直後に器具に触れないでください。**  
点灯中または消灯直後は器具の温度が上昇していることがあり、やけどのおそれがあり  
ます。
- ❗ **定期的に点検してください。**  
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電などのおそれがあります。  
本製品には寿命があります。取り付け後10年経つと外観に異常がなくても内部の劣化は  
進行しています。点検時に不具合が発見された場合、または取り付け後10年を経過した  
場合には交換を推奨します。点検内容等は工事店にご相談ください。
- ❗ **正しく固定をして使用してください。**  
正しく固定していないと、振動や衝撃、地震などにより本器具が落下して人体や動植物、  
財物に当たり、けがや損害を与えることがあります。
- ❗ **本製品の接続には専用のハーネス類をご使用ください。また調光インターフェース類を使用  
する場合は必ず専用の調光インターフェースを使用してください。**  
専用のハーネス類、調光インターフェース類を使用しないと、故障の原因となります。

## その他のご注意

---

- ・ 静電気により、破損や故障のおそれがあります。本製品ならびに取り扱い者（作業者）の除電をおこなってください。
- ・ 本製品をお手入れする際、クレンザーやたわしで磨かないでください。傷や腐食の原因となります。
- ・ 本製品は不燃物相当です。廃棄する際は、各自治体の規程に従ってください。
- ・ OLEDパネルのみの交換はできません。交換が必要な場合、照明モジュールSLでの交換となります。

# 1

## 製品概要

本製品は有機EL照明パネル（OLED）を搭載した照明モジュールです。  
本書では照明モジュールSLと表記します。

### 照明モジュールSL

ラインナップは次のとおりです。

#### ●標準光束タイプ

型番	色温度
LE-01L	3000K
LE-02L	3000K高演色
LE-03L	4000K高演色

#### ●高光束タイプ

型番	色温度
LE-01H	3000K
LE-02H	3000K高演色
LE-03H	4000K高演色

ご注意

照明モジュールSLを連結して使用する場合は、同じタイプのを連結してください。標準光束タイプと高光束タイプを混在して使用しないでください。

## アクセサリ一覧

専用アクセサリは次のとおりです。必ず専用のものを使用してください。

分類	品名	主な仕様等
取り付けベース類	取り付けベースS	発光面に対し、取り付け面が反対方向となります
	取り付けベースA	発光面に対し、取り付け面が同一方向/反対方向から選択可能です
調光インターフェース類	PWM調光インターフェース	PWM調光時に使用します
	DALI/DMX調光インターフェース	DALI/DMX調光時に使用します
-	電源装置	MEAN WELL社 PLC-100-24
ハーネス類	連結ハーネス	照明モジュールSL同士の接続に使用します
	変換ハーネス	以下の用途に使用します ・照明モジュールSLと延長ハーネスの接続 ・照明モジュールSLと電源ハーネスの接続
	延長ハーネス	以下の用途に使用します。 ・変換ハーネスと調光インターフェースの接続 ・変換ハーネスとジョイントハーネスの接続 ・変換ハーネスと二分岐ハーネスの接続 ・PWM調光インターフェース同士の接続
	二分岐ハーネス	調光インターフェースと組み合わせて使うことで、照明モジュールSLの接続数を増やせます※
	ジョイントハーネス	以下の用途に使用します。 ・電源ハーネスと延長ハーネスの接続 ・電源ハーネスと二分岐ハーネスの接続
	電源ハーネス	以下の用途に使用します。 ・電源装置のDC出力側と調光インターフェースの接続 ・電源装置のDC出力側と変換ハーネスの接続 ・電源装置のDC出力側とジョイントハーネスの接続

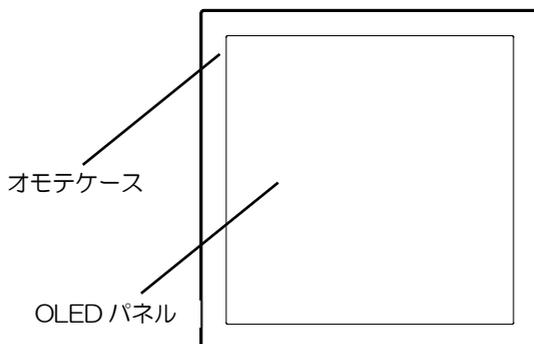
※：二分岐ハーネスのみの使用では、接続数を増やすことはできません。

ご注意

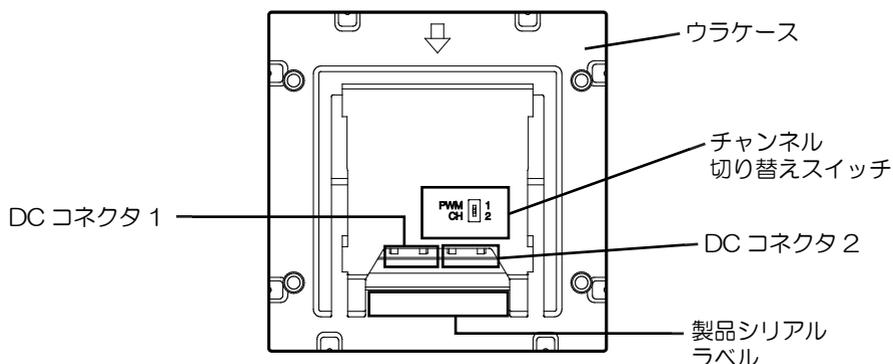
電源装置のAC INに接続する電源ケーブルは、販売店（工事店）での手配となります。

## 各部の名称

### 照明モジュール SL 発光面



### 照明モジュール SL 裏面



DCコネクタ1、2	変換ハーネス、または連結ハーネス（照明モジュールSL連結時）を接続します。1、2のどちらに接続しても構いません。 空いたコネクタは、照明モジュールSL連結時、次の照明モジュールSLへの連結ハーネスの接続に使用します。
チャンネル切り替えスイッチ	チャンネルをch1、2から選択します。接続する調光インターフェースのチャンネル設定にあわせて設定してください。

#### ご注意

- ・チャンネル切り替えスイッチは、工場出荷時はch1に設定されています。
- ・チャンネル切り替えスイッチと調光インターフェースのチャンネル設定が一致していない場合、正しく調光がおこなえません。
- ・二分岐ハーネスを使用する場合、チャンネル切り替えスイッチの設定は無視され、二分岐ハーネスの各分岐に設定されたチャンネルが有効になります。
- ・チャンネル切り替えスイッチは細いマイナスドライバーやクリップなどで切り替えてください。先のとがったものはスイッチを傷つけるおそれがあるので使用しないでください。

## 2 接続と配線（調光が必要な場合）



調光が不要な場合は、「3 接続と配線（調光が不要な場合）」をご覧ください。

### 配線の概要

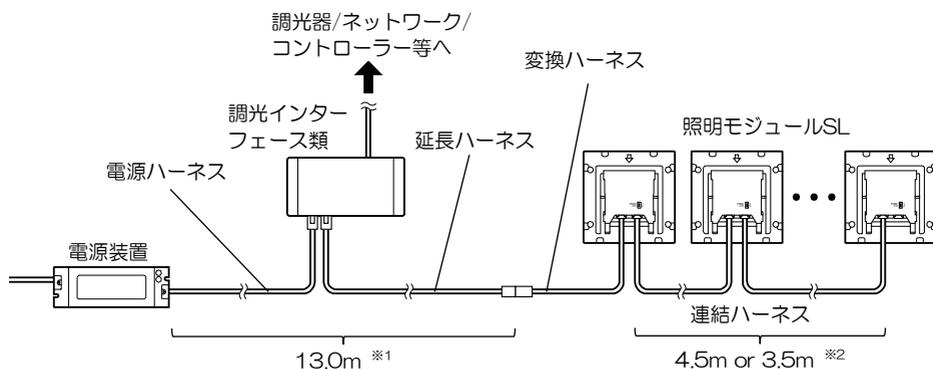
電源装置、調光インターフェース類、照明モジュールSLなどを下図のように接続します。

- ・ 配線の長さにより電圧降下が発生します。配線は、それぞれの接続図に記載している長さ以下になるように施工してください。
- ・ 電源装置一台に接続できる照明モジュールSLの台数は、接続方法により異なります。「接続可能な照明モジュールSLの最大数(調光あり)」をご覧ください。
- ・ 接続には必ず専用ハーネス類を使用してください。

#### ご注意

配線の際は、ハーネス類のケーブルやコネクタに無理な力が加わらないように、余裕をもたせて配線してください。ケーブルやコネクタに無理な力が加わると、破損や故障の原因となります。

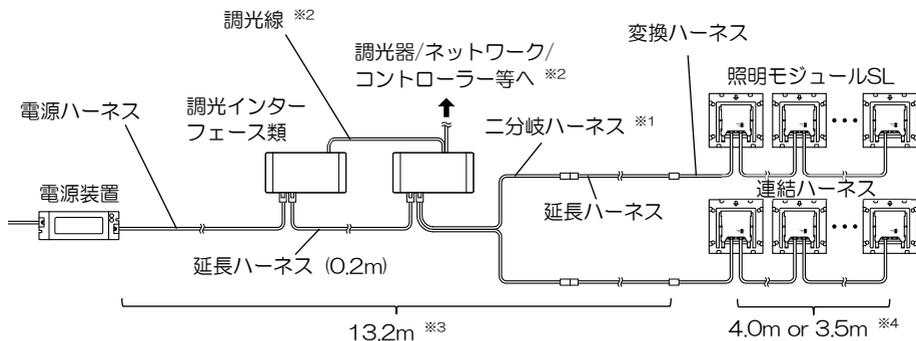
### ●PWM調光、またはDALI/DMX調光を使用、分岐無しの場合



※1: 上の図に記載している配線の長さ、調光インターフェースの長さは含まれません。

※2: 標準光束タイプの場合は最大で4.5m、高光束タイプの場合は最大で3.5mです。

## ●PWM調光を使用、分岐あり、調光器1台の場合



※1: 照明モジュールSLのch設定に関わらず、接続した分岐によりchが決定されます。

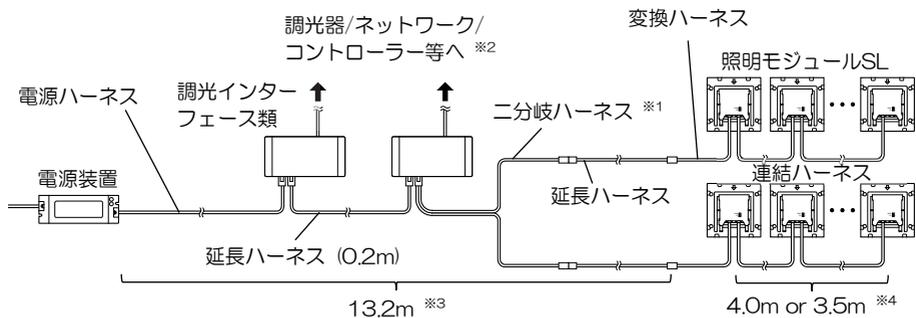
※2: 片方のPWM調光インターフェースに調光器を接続し、PWM調光インターフェース同士を調光線で接続してください。

なお、調光線は、販売店(工事店)での手配となります。

※3: 上の図に記載している配線の長さ、調光インターフェース、および二分岐ハーネスの長さを含みません。

※4: 標準光束タイプの場合は最大で4.0m、高光束タイプの場合は最大で3.5mです。

## ●PWM調光を使用、分岐あり、調光器2台の場合



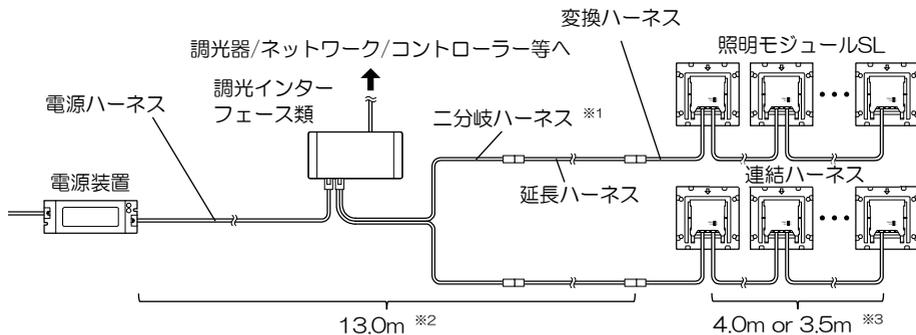
※1: 照明モジュールSLのch設定に関わらず、接続した分岐によりchが決定されます。

※2: 2台のPWM調光インターフェースそれぞれに調光器を接続してください。

※3: 上の図に記載している配線の長さ、調光インターフェース、および二分岐ハーネスの長さを含みません。

※4: 標準光束タイプの場合は最大で4.0m、高光束タイプの場合は最大で3.5mです。

●DALI/DMX調光を使用、分岐ありの場合



※1: 照明モジュールSLのch設定に関わらず、接続した分岐によりchが決定されます。

※2: 上の図に記載している配線の長さ、調光インターフェース、および二分岐ハーネスの長さは含まれません。

※3: 標準光束タイプの場合は最大で4.0m、高光束タイプの場合は最大で3.5mです。

**接続可能な照明モジュール SL の最大数（調光あり）**

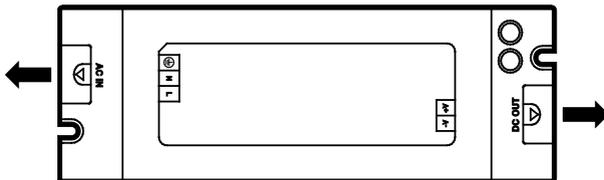
調光ありの場合の、接続可能な照明モジュールSLの最大数は次の通りです。

型番	二分岐ハーネス	分岐ごとの最大数	最大数
LE-O1L, LE-O2L, LE-O3L	使用しない	-	10
	使用する	9	18 (9 + 9)
LE-O1H, LE-O2H, LE-O3H	使用しない	-	8
	使用する	8	16 (8 + 8)

## 電源装置の接続

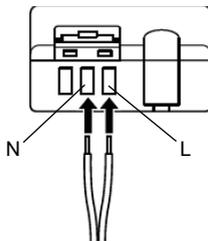
詳細は電源装置の取扱説明書をご覧ください。

- 1 電源装置の「AC IN」、「DC OUT」のカバーを取り外す  
矢印の方向にスライドさせて取り外してください。



- 2 「AC IN」に電源ケーブルを接続する

マイナスドライバーで端子のネジをゆるめ、極性に注意して電源ケーブルを差し込み、端子のネジを締めて電源ケーブルを固定してください。  
ネジにゆるみや締め忘れがないことを確認してください。

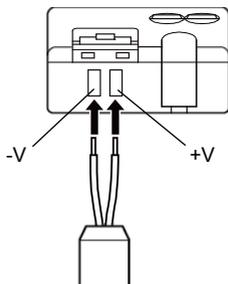


### ご注意

- ・電源装置のAC INに接続する電源ケーブルは、販売店（工事店）での手配となります。
- ・電源装置のAC INへの接続は、電気工事に資格者がおこなってください。

### 3 電源ハーネスを「DC OUT」に接続する

マイナスドライバーで端子のネジをゆるめ、極性（BK：-V、WT：+V）に注意して電源ハーネスを差し込み、端子のネジを締めて電源ハーネスを固定してください。



### 4 「AC IN」、「DC OUT」のカバーを元のように取り付ける

ご注意

カバー取り付け前に、電源装置から線材がはみ出していないこと、左右の線材同士が接触していないことを確認してください。線材がはみ出している場合や、左右の線材が接触している場合は、接続をやり直してください。

## 調光インターフェース類の接続

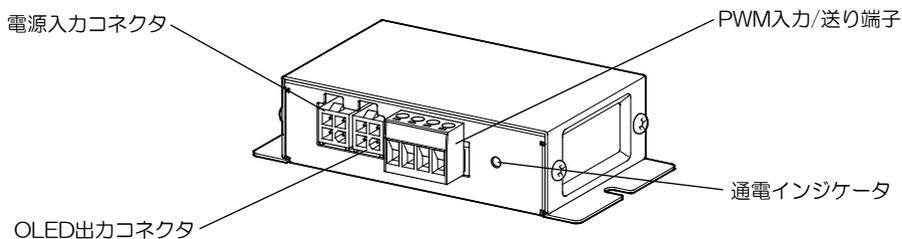
使用する調光方式にあわせて、PWM調光インターフェースまたはDALI/DMX調光インターフェースを接続します。

### 調光インターフェース類の各部の名称

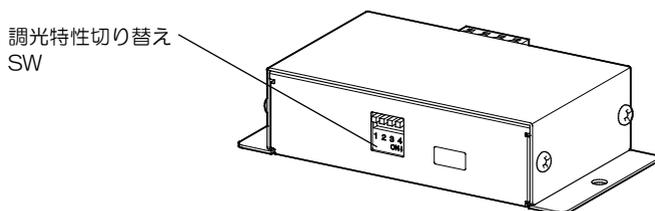
---

#### ●PWM調光インターフェース

##### ・前面

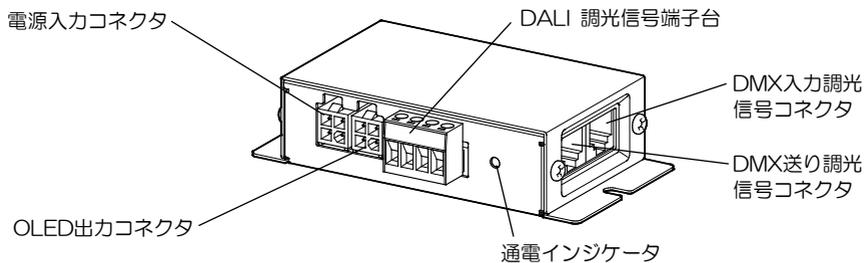


##### ・背面

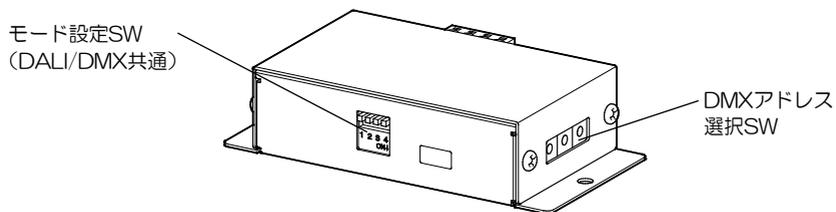


## ●DALI/DMX調光インターフェース

### ・前面



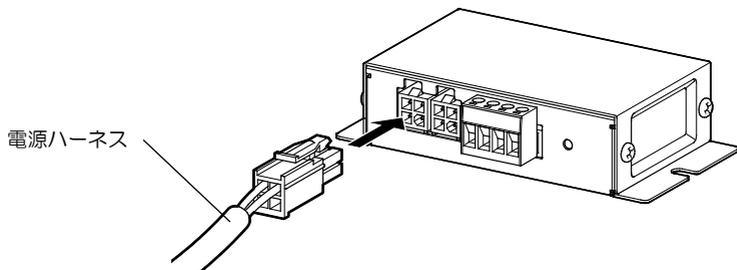
### ・背面



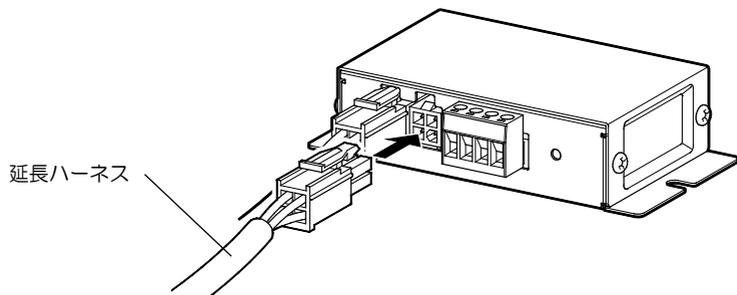
## 調光インターフェース類の接続 (PWM 調光を使用する場合)

PWMによる調光をおこなう場合は、PWM調光インターフェースを使用し、PWM調光器に接続します。PWM調光器は市販のものでJISC8120またはIEC60929に適合した調光器を使用してください。

- 1** 電源装置に接続した電源ハーネスを、電源入力コネクタに接続する  
コネクタの向きに注意し、ツメで固定されるまで差し込んでください。

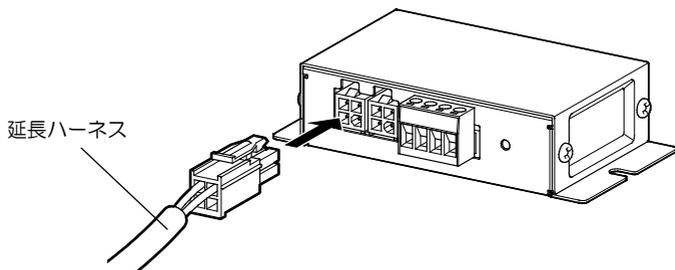


- 2** 延長ハーネスをOLED出力コネクタに接続する  
コネクタの向きに注意し、ツメで固定されるまで差し込んでください。

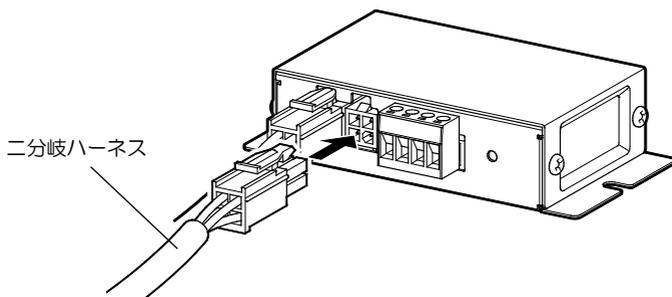


二分岐ハーネスを使用する場合は、PWM調光インターフェースを2台使用する必要があります。手順3に進んで、2台のPWM調光インターフェースを接続してください。二分岐ハーネスを使用しない場合は、手順6に進んでください。

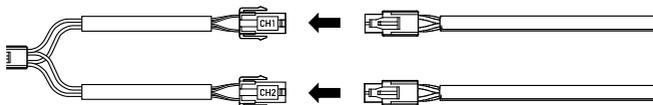
- 3** 1 台目の PWM 調光インターフェースに接続した延長ハーネスを、2 台目の PWM 調光インターフェースの電源入力コネクタに接続する  
コネクタの向きに注意し、ツメで固定されるまで差し込んでください。



- 4** 二分岐ハーネスを、2 台目の PWM 調光インターフェースの OLED 出力コネクタに接続する  
コネクタの向きに注意し、ツメで固定されるまで差し込んでください。



- 5** 二分岐ハーネスのそれぞれの分岐の先に、延長ハーネスを接続する  
コネクタの向きに注意し、ツメで固定されるまで差し込んでください。

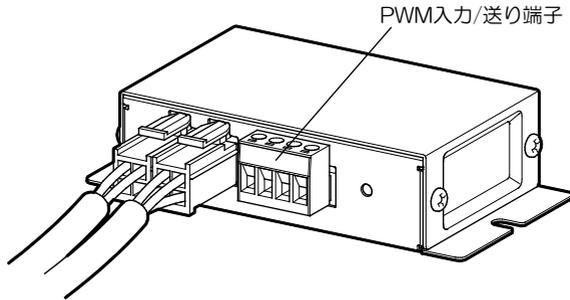


## 6 PWM調光器の調光信号線を、PWM入力/送り端子に接続する

マイナスドライバーで端子のネジをゆるめ、調光信号の入出力に注意し、調光器からの信号線を差し込み、端子のネジを締めて信号線を固定してください。

二分岐ハーネスを使用する場合は、2台のPWM調光インターフェースにそれぞれ調光器を接続するか、どちらかのPWM調光インターフェースに調光器を接続し、PWM調光インターフェースの間を調光線で接続する必要があります。「2 接続と配線（調光が必要な場合）(p.9) を参照してください。

PWM調光器との接続について、詳しくは使用するPWM調光器の取扱説明書をご覧ください。



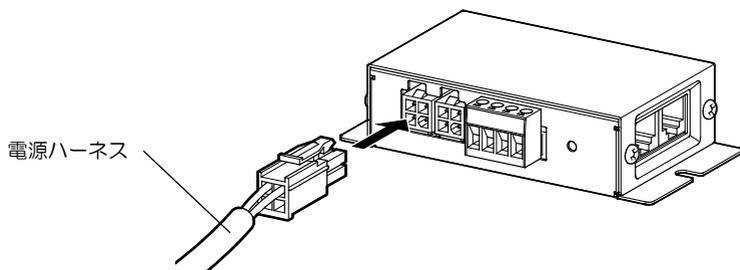
## 7 施工の仕様にあわせて、調光インターフェースの調光特性切り替えSWを設定する

調光インターフェースの設定は、「5 付録・技術仕様等」の「PWM調光インターフェースの設定および調光特性」をご覧ください。

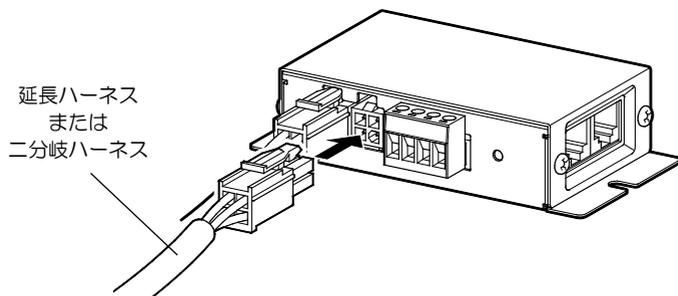
## 調光インターフェース類の接続 (DALI/DMX 規格の調光を使用する場合)

DALI規格またはDMX規格による調光をおこなう場合は、DALI/DMX調光インターフェースを使用し、DALIネットワークまたはDMXコントローラーに接続します。DALI/DMX調光インターフェースはDALI規格、DMX規格で共用ですが、ケーブルを接続するコネクタが異なります。

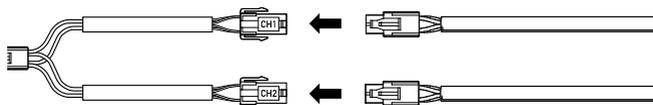
- 1** 電源装置に接続した電源ハーネスを、電源入力コネクタに接続するコネクタの向きに注意し、ツメで固定されるまで差し込んでください。



- 2** 延長ハーネス、または二分岐ハーネスをOLED出力コネクタに接続するコネクタの向きに注意し、ツメで固定されるまで差し込んでください。



- 3** 二分岐ハーネスを使用する場合は、二分岐ハーネスに延長ハーネスを接続する  
二分岐ハーネスのそれぞれの分岐の先に、延長ハーネスを接続してください。

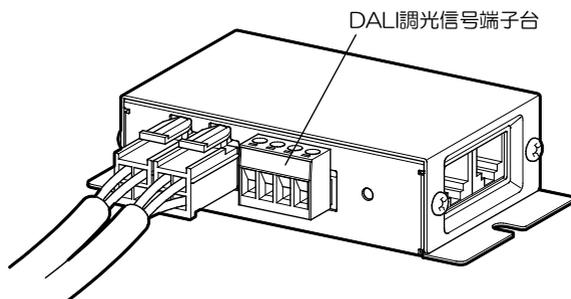


## 4 DALIネットワーク/DMXコントローラーへの信号線を接続する

### ●DALI規格の調光を使用する場合

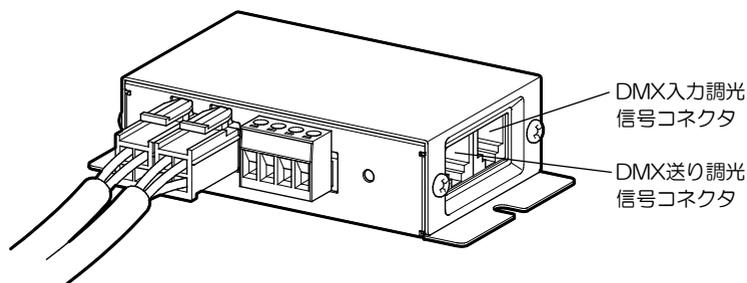
マイナスインバーでDALI調光信号端子台のネジをゆるめ、調光信号の入出力に注意してDALIネットワークからの信号線を差し込み、DALI調光信号端子台のネジを締めて信号線を固定してください。

DALIネットワークには、IEC62386-207に対応した機器を使用してください。DALIネットワークとの接続について、詳しくは使用するDALI機器の取扱説明書をご覧ください。



### ●DMX規格の調光を使用する場合

調光インターフェースのDMX入力調光信号コネクタ、およびDMX送り調光信号コネクタにDMXコントローラーへのケーブルを接続します。DMXコントローラーは市販のもので、DMX512/1990に適合したコントローラーを使用してください。DMXコントローラーとの接続について、詳しくは使用するDMXコントローラーの取扱説明書をご覧ください。



## **5** 使用する調光方式と仕様にあわせて調光インターフェースを設定する

調光インターフェースの設定は、「5 付録・技術仕様等」の「DALI/DMX調光インターフェースの設定および調光特性」をご覧ください。

### ●DALI規格の調光を使用する場合

接続するDALIネットワークの仕様にあわせて、モード設定SW（DALI/DMX共通）を設定します。

### ●DMX規格の調光を使用する場合

接続するDMXコントローラーの仕様にあわせて、モード設定SW（DALI/DMX共通）、およびDMXアドレス選択SWを設定します。

## 照明モジュールSLの接続

照明モジュールSLに接続されている変換ハーネスと調光インターフェース類に接続されている延長ハーネスを接続します。

また、複数の照明モジュールSLを連結して使用する場合は、専用の連結ハーネスで照明モジュールSL同士を接続します。照明モジュールSLを連結して使用できる最大数は、二分岐ハーネスや調光インターフェースの有無により異なります。

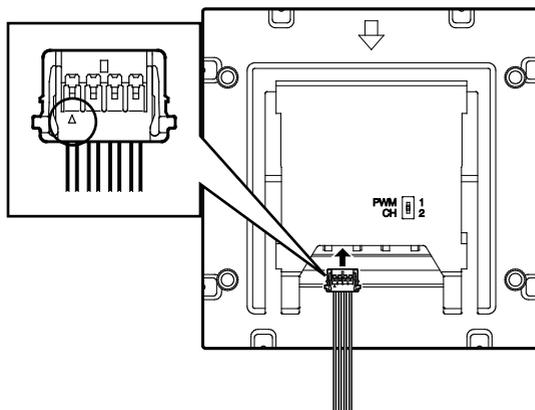
ご注意

照明モジュールSLを連結して使用する場合は、同じタイプのを連結してください。標準光束タイプと高光束タイプを混在して使用しないでください。

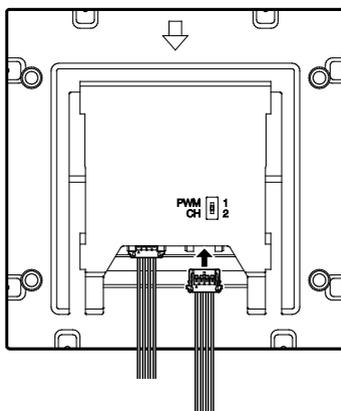
### 1 照明モジュールSLのDCコネクタに変換ハーネスの照明モジュールSL側コネクタを接続する

DCコネクタは1、2どちらに接続しても構いません。設置位置や配線にあわせて接続してください。

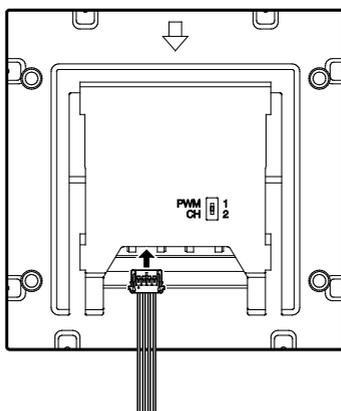
極性がありますので、1pin (△のマーク) 側が図の向きになるように接続してください。



- 2** 照明モジュールSLを連結して使用する場合は、空いているコネクタに連結ハーネスの一方のコネクタを接続する

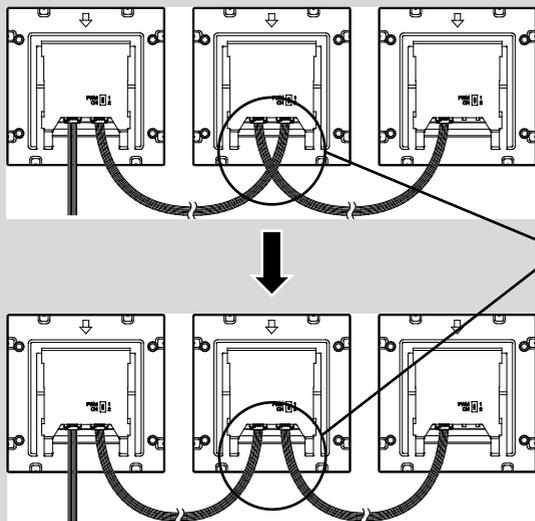


- 3** 連結する照明モジュールSLのDCコネクタに、連結ハーネスのもう一方のコネクタを接続する



ご注意

壁面など設置場所に取り付けた際に、照明モジュールSLに接続した連結ハーネスが交差しないように注意してください。交差する場合は接続する連結ハーネスを入れ替えてください。



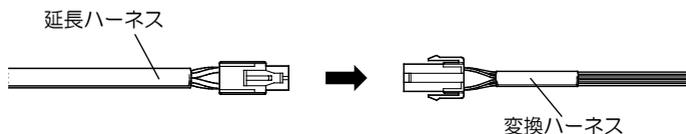
交差しているので、接続する連結ハーネスを入れ替え、交差しないようにします。

**4** 手順2~3を繰り返して、必要な数の照明モジュールSLを連結する

二分岐ハーネスを使用する場合は、もう一方の分岐に接続する照明モジュールSLも同様に連結してください。

**5** 延長ハーネスを変換ハーネスの延長ハーネス側コネクタに接続する

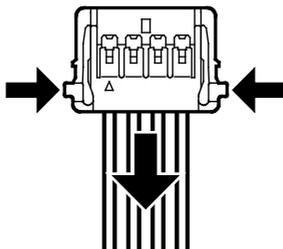
二分岐ハーネスを使用する場合は、もう一方の分岐の延長ハーネスと変換ハーネスも同様に接続してください。



## 変換ハーネス、連結ハーネスのコネクタの外しかた

---

照明モジュールSLに接続した変換ハーネス、または連結ハーネスのコネクタを取り外すときは、下図のように、コネクタの左右のリリースボタンを押しながら引き抜いてください。



### ご注意

- ・ リリースボタンを押さずに引き抜こうとしたり、ケーブルを引っばって引き抜こうとしたりしないでください。ハーネスや照明モジュールSLの破損や故障の原因となります。
- ・ 連結ハーネスのコネクタ部分を持ち、取り付け、取り外しを行ってください。コネクタ以外の部分を持って取り付け、取り外しを行うと、コネクタが外れるなど破損の原因となります。

# 3 接続と配線（調光が不要な場合）

## 配線の概要

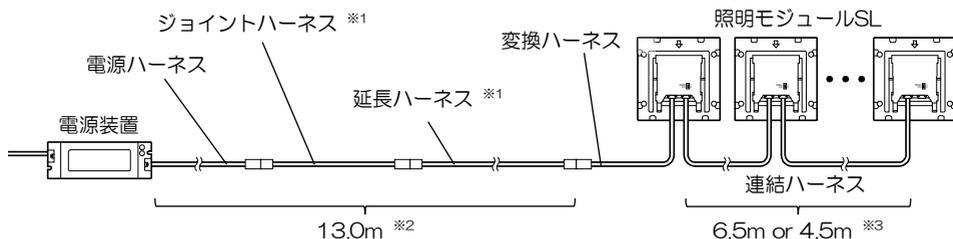
電源装置、照明モジュールSLを下図のように接続します。

- ・ 配線の長さにより電圧降下が発生します。配線は、それぞれの接続図に記載している長さ以下になるように施工してください。
- ・ 電源装置一台に接続できる照明モジュールSLの台数は、接続方法により異なります。「接続可能な照明モジュールSLの最大数(調光なし)」をご覧ください。
- ・ 接続には必ず専用ハーネス類を使用してください。

ご注意

配線の際は、ハーネス類のケーブルやコネクタに無理な力が加わらないように、余裕をもたせて配線してください。ケーブルやコネクタに無理な力が加わると、破損や故障の原因となります。

### ●分岐なしの場合

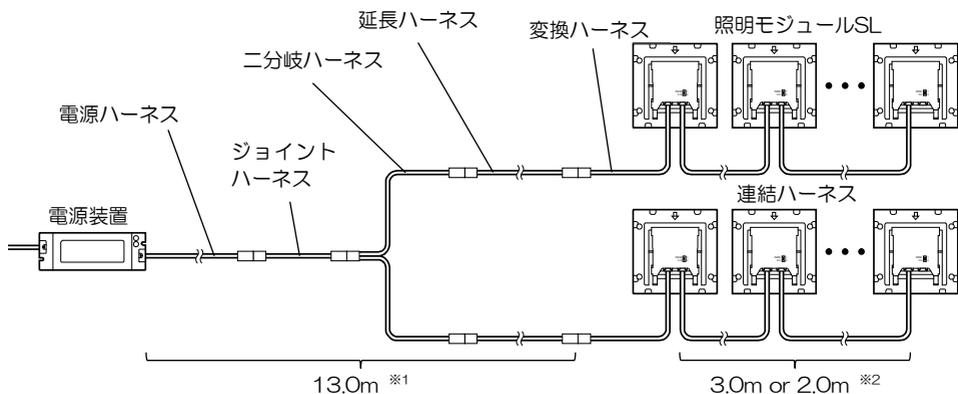


※1: 延長ハーネスを使用しない場合は、ジョイントハーネス、延長ハーネスは省略可能です。電源ハーネスと変換ハーネスを接続してください。

※2: 上の図に記載している配線の長さに、ジョイントハーネスの長さは含みません。

※3: 標準光束タイプの場合は最大で6.5m、高光束タイプの場合は最大で4.5mです。

## ●分岐ありの場合



※1: 上の図に記載している配線の長さ、ジョイントハーネス、および二分岐ハーネスの長さは含みません。

※2: 標準光束タイプの場合は最大で3.0 m、高光束タイプの場合は最大で2.0 mです。

### 接続可能な照明モジュール SL の最大数（調光なし）

調光なしの場合、接続可能な照明モジュールSLの最大数は次の通りです。

型番	二分岐ハーネス	分岐ごとの最大数	最大数
LE-O1L, LE-O2L, LE-O3L	使用しない	-	14
	使用する	7	14 (7 + 7)
LE-O1H, LE-O2H, LE-O3H	使用しない	-	10
	使用する	5	10 (5 + 5)

## 電源装置の接続

電源装置に、電源ケーブルと電源ハーネスを接続します。「2 接続と配線（調光が必要な場合）」の「電源装置の接続」をご覧ください、作業をおこなってください。

## 照明モジュールSLの接続

照明モジュールSLを電源装置に接続します。

また、複数の照明モジュールSLを連結して使用する場合は、専用の連結ハーネスで照明モジュールSL同士を接続します。照明モジュールSLを連結して使用できる最大数は、二分岐ハーネスの有無により異なります。

**1** 「2 接続と配線（調光が必要な場合）」の「照明モジュールSLの接続」手順1～4の作業をおこない、必要な数の照明モジュールSLを連結する

**2** 電源ハーネスを変換ハーネスの延長ハーネス側コネクタに接続する

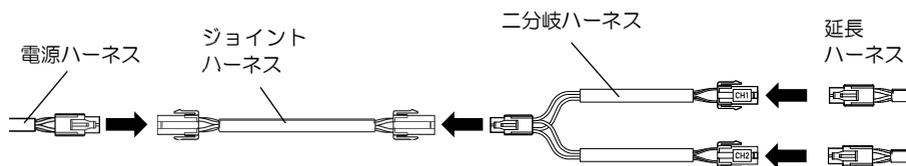
### ●延長ハーネスを使用する場合

下図のように、電源ハーネスにジョイントハーネス、延長ハーネスを接続してください。

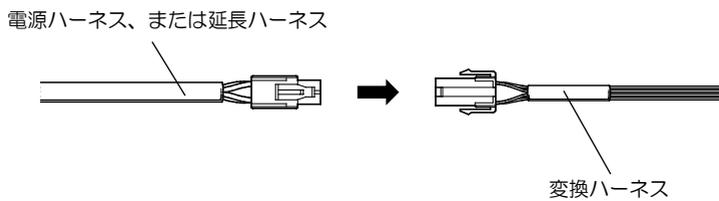


### ●二分岐ハーネスを使用する場合

下図のように、電源ハーネスにジョイントハーネス、二分岐ハーネス、延長ハーネスを接続してください。



**3** 電源ハーネス、または延長ハーネスを変換ハーネスの延長ハーネス側コネクタに接続する。



# 4 照明モジュールSLの設置

壁や天井に照明モジュールSLを取り付ける場合は、専用の取り付けベース類を使用してください。

## ⚠ 注意

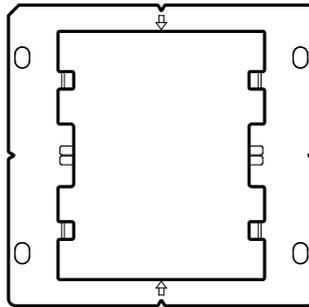
- ❌ 取り付けベース類を使用せずに、照明モジュールSLを壁面などに直接ネジ止めしたり、接着剤やテープなどで固定したりしないでください。  
性能の劣化や破損、脱落などによるけがのおそれがあります。
- ⚠ 設置作業の際は、手袋などで手を保護して作業してください。  
手を切るなどの怪我をするおそれがあります。

## 取り付けベース類の固定

### 取り付けベース類の種類

取り付けベース類には次の2種類があります。

#### ●取り付けベースS



照明モジュールSLを含む取り付け時の厚さは5mm、発光面は取り付け面と反対方向になります。

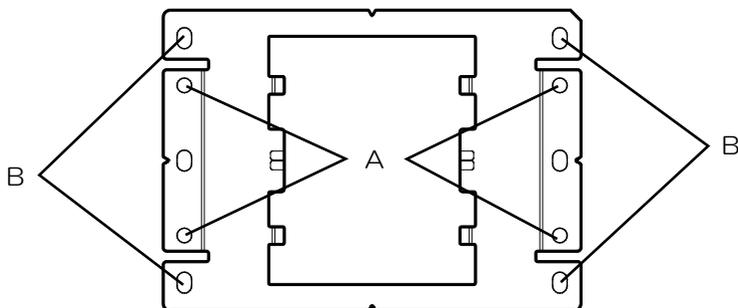
照明モジュールSLをセットすると、発光面側からは取り付けベースSが見えなくなります。取り付けに使用できるネジに制限があります。取り付けの際は次のネジを使用してください。

- ・ 皿木ネジ：M3.1×25 mm

#### ご注意

上記以外のネジを使用した場合、ネジの頭と本製品が干渉して、取り付けができなかったり、本製品が傾いたり、傷や破損の原因となります。

## ●取り付けベースA



照明モジュールSLを含む取り付け時の厚さは5mmです。

発光面は、取り付けベースAの固定方法により取り付け面と同一方向（Aのネジ穴を使用）、反対方向（Bのネジ穴を使用）が選択できます。

ネジで固定する位置が照明モジュールSLよりも外側にあるため、直径が3.0～4.0mm のネジであれば使用可能です。

### ご注意

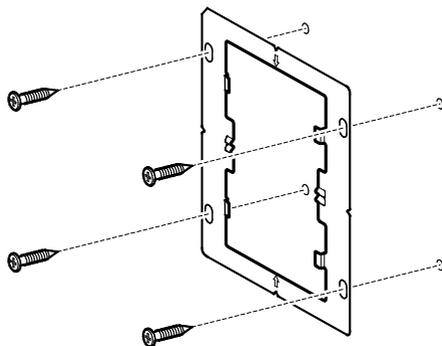
- ・使用するネジの長さは、取り付ける場所の材質、厚みなどに合わせて適切なものを使用してください。
- ・発光面と取り付け面が同一方向になるように設置する場合、設置場所によっては取り付けベースA固定後に照明モジュールSLを取り付けることが困難な場合があります。そのような場所に設置する場合は、先に照明モジュールSLを取り付けベースAに取り付けてから固定してください。

## 1 取り付けベース類を設置場所にネジで固定する

ご注意

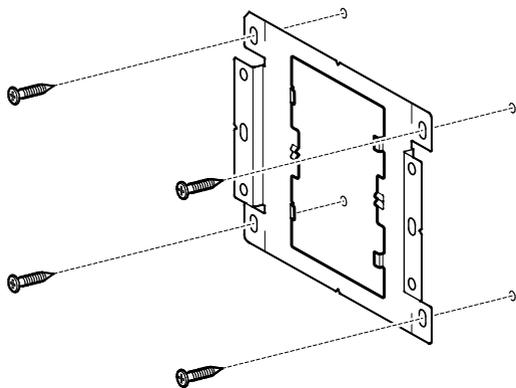
石膏ボードなど、直接ネジが固定できない壁面などに取り付ける場合は、事前にご相談ください。

### ●取り付けベースS

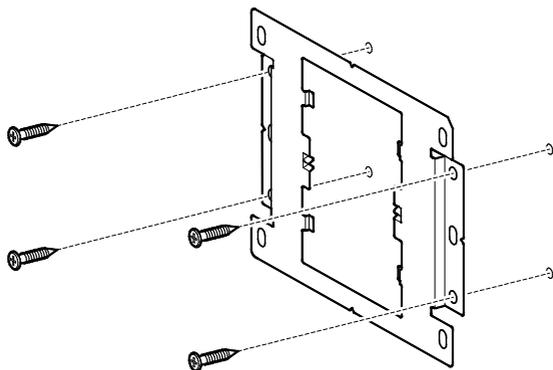


## ●取り付けベースA

- ・発光面を取り付け面と反対方向にする場合



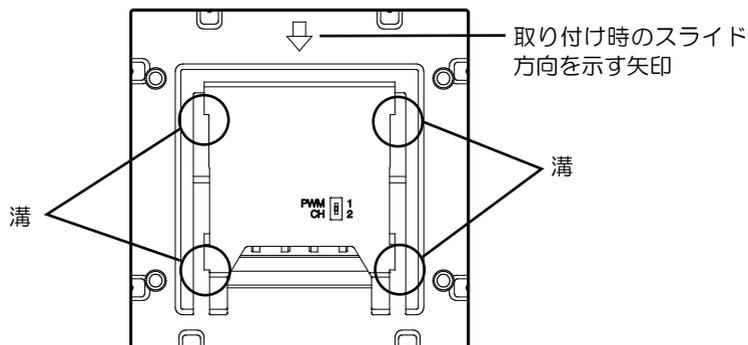
- ・発光面を取り付け面と同一方向にする場合



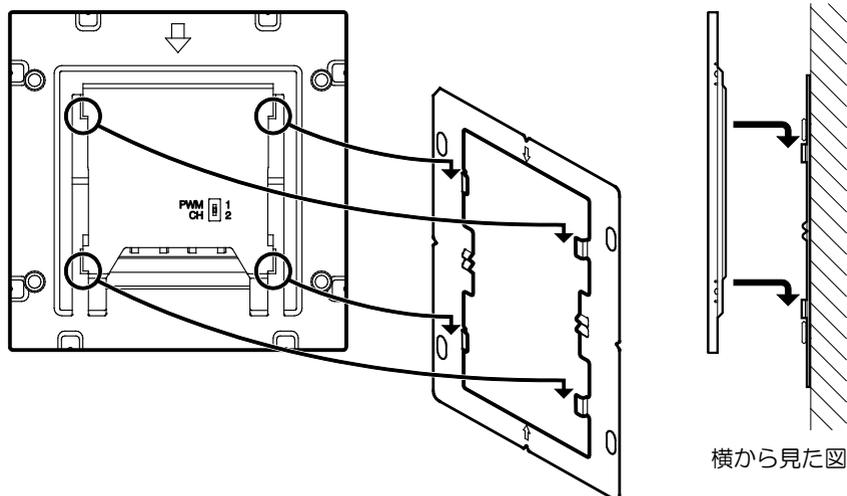
## 照明モジュールSLの取り付け

固定した取り付けベース類に照明モジュールSLを取り付けます。

### 1 照明モジュールSL裏面の矢印の向きと溝の位置を確認する



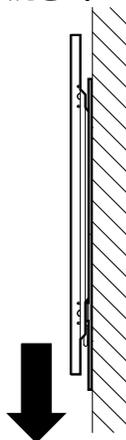
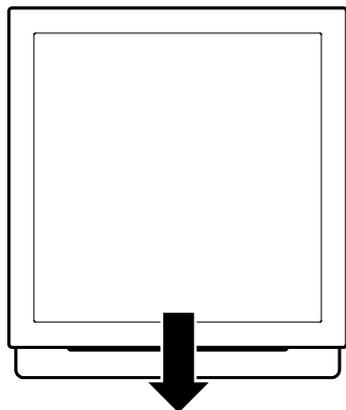
### 2 取り付けベース類のツメと照明モジュールSL裏面の溝の位置をあわせて、照明モジュールSLを取り付けベース類に取り付ける



イラストは取り付けベースSの場合です。

### 3 照明モジュールSL裏面の矢印の向きに照明モジュールSLをスライドして固定する

カチッと音がして固定されるまでスライドさせてください。



横から見た図

イラストは取り付けベースSの場合です。

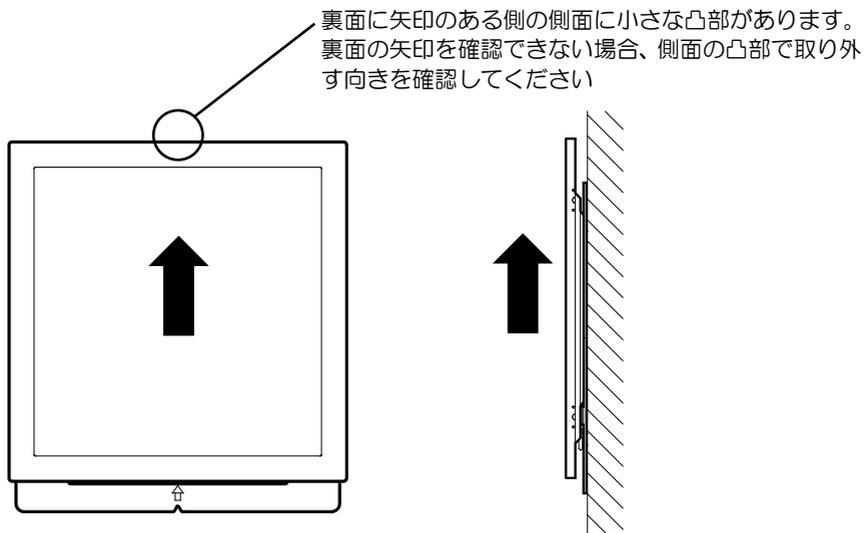
#### ご注意

照明モジュールSLを軽く手前に引くなどして、照明モジュールSL裏面の溝と取り付けベース類のツメが4つとも固定されていることを確認してください。

## 照明モジュールSLの取り外し

修理や交換などで照明モジュールSLを取り外す場合は、次の手順でおこないます。

- 1 照明モジュールSLを裏面の矢印と逆の向き（側面に小さな凸部がある向き）にスライドし、照明モジュールSL裏面の溝と取り付けベース類のツメを外す



横から見た図

イラストは取り付けベースSの場合です。

- 2 照明モジュールSLを手前に引いて取り外す

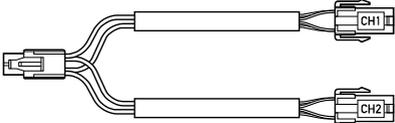
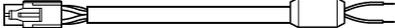
### ご注意

取り外せない場合は、照明モジュールSL裏面の溝と取り付けベース類のツメが完全に外れていない可能性があります。無理に強く引いたりせず、完全に外れるまでスライドしているかどうか確認してください。

# 5 付録・技術仕様等

## ハーネス類一覧

本製品の配線で使用するハーネスは次のとおりです。  
 ハーネスは必ず専用のものを使用してください。

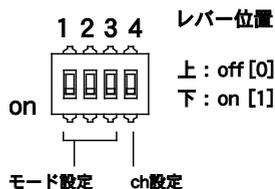
種類	外観	長さ
連結ハーネス		0.05m
		0.12m
		0.3m
		0.5m
変換ハーネス		0.3m
延長ハーネス		0.2m
		1.0m
		3.0m
		5.0m
		10.0m
二分岐ハーネス		0.2m
ジョイントハーネス		0.2m
電源ハーネス		3.0m

# PWM調光インターフェースの設定および調光特性

## 調光特性切り替え SW の設定

### ●ch設定

ch	SW設定
	4
1	0
2	1

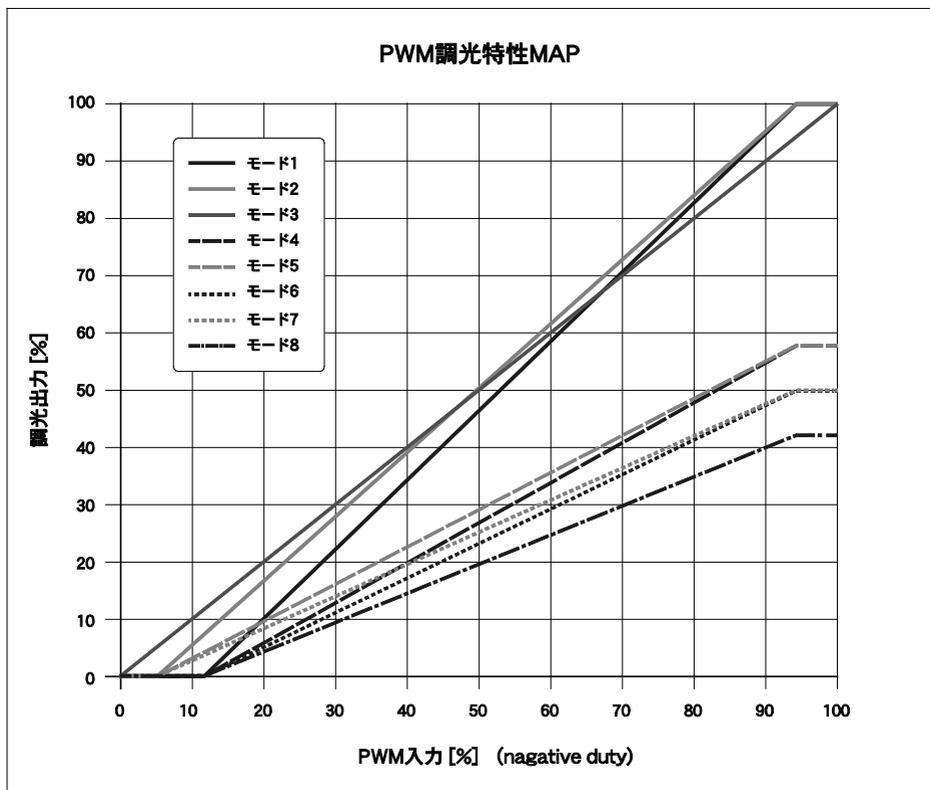


### ●モード設定

モード※1	SW設定	入力PWM	出力PWM
	1 2 3		
1	0 0 0	11~94%(A)	0~100%
2	1 0 0	5~94%(B)	
3	0 1 0	0~100%(C)	
4	1 1 0	11~94%(A)	0~58%
5	0 0 1	5~94%(B)	
6	1 0 1	11~94%(A)	0~50%
7	0 1 1	5~94%(B)	
8	1 1 1	11~94%(A)	0~42%

※1 : 各モードの調光特性については、次ページの「各モードの調光特性 (PWM調光)」をご覧ください。

# 各モードの調光特性 (PWM 調光)

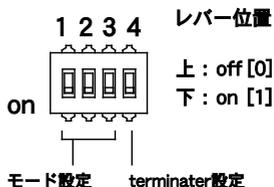


# DALI/DMX調光インターフェースの設定および調光特性

## モード設定 SW の設定 (DALI/DMX 共通)

### ●terminator設定

terminator 設定	SW設定 4
無効	0
有効	1



### ●モード設定

モード※1	SW設定	入力信号	ch※2	オプション※3
	1 2 3			
1	0 0 0	DALI	1ch (ch1、2とも同制御)	なし
2	1 0 0		スムージング	
3	0 1 0		2ch (ch1とch2は別制御)	なし
4	1 1 0		スムージング	
5	0 0 1	DMX	2ch (ch1とch2は別制御)	なし
6	1 0 1			スムージング
7	0 1 1			なし
8	1 1 1			スムージング

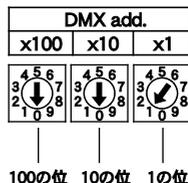
※1 : 各モードの調光特性については、次ページ以降の「各モードの調光特性 (DAL調光)」、または「各モードの調光特性 (DMX調光)」をご覧ください。

※2 : 照明モジュールSL本体のチャンネル切り替えスイッチでch1、ch2を選択します。

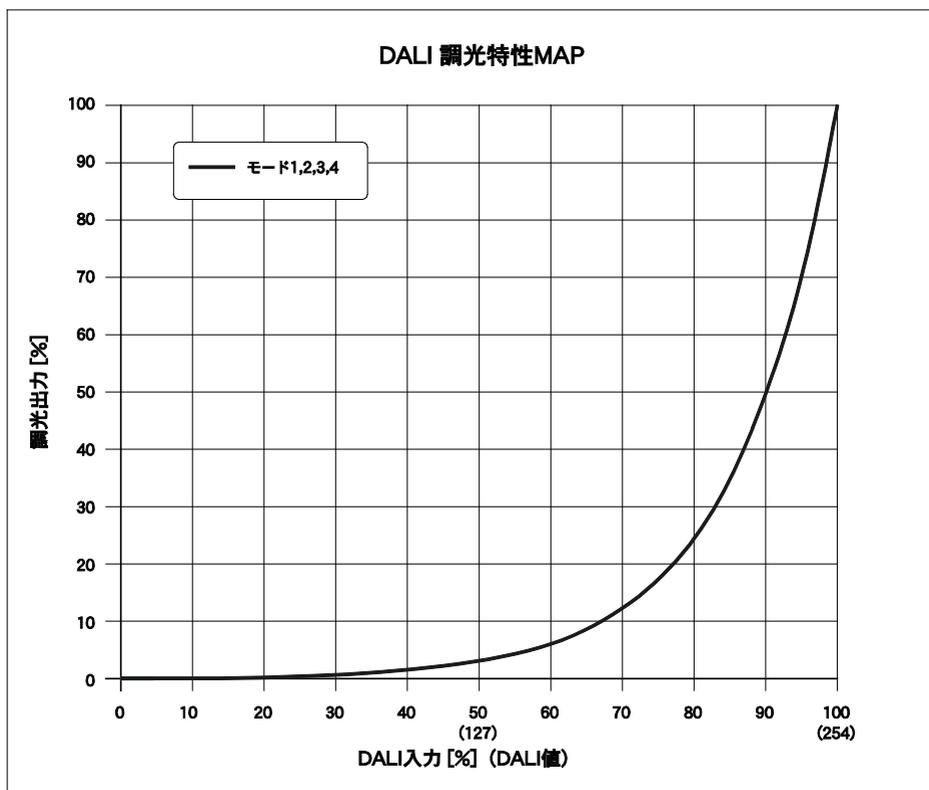
※3 : スムージングを選択する事により、より滑らかな調光制御が可能となります。

## DMX アドレス選択 SW の設定 (DMX のみ)

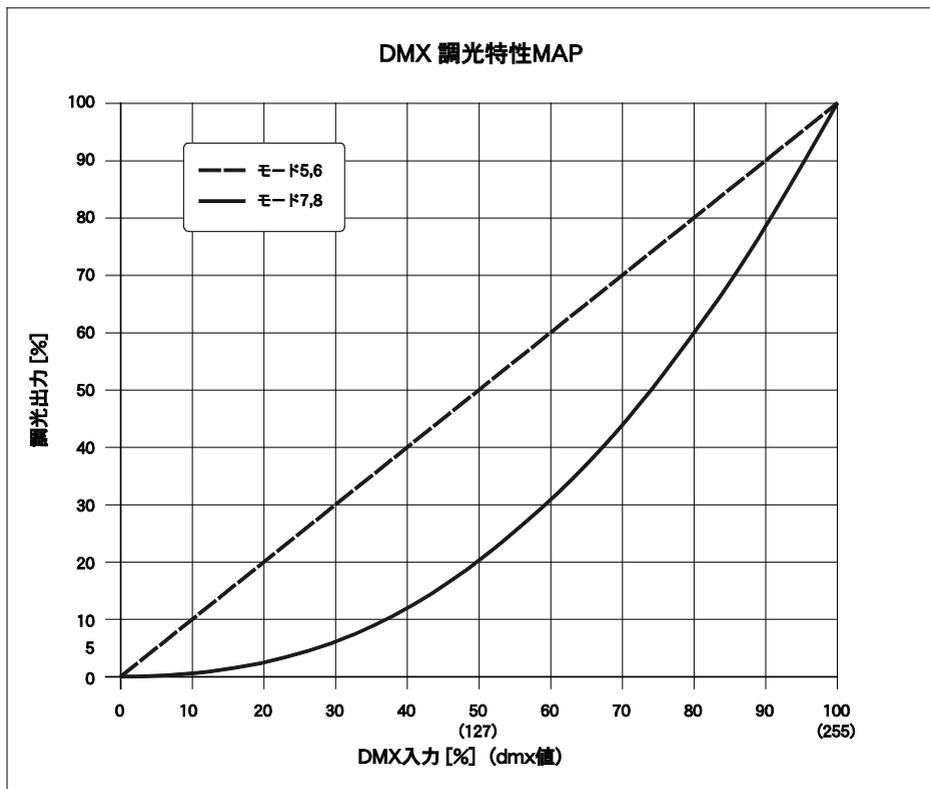
ch1	SWで設定したアドレス
ch2	SWで設定したアドレス+1



## 各モードの調光特性 (DALI 調光)



# 各モードの調光特性 (DMX 調光)



# MEMO

---

# MEMO

---

カネカ有機EL照明モジュールSL 取扱説明書

Document No. OBD-109-001/002

2017年8月初版

Printed in Japan

© Kaneka Corporation 2017

株式会社カネカの許可なく複製、改変などを行うことはできません。

株式会社カネカ

OLED事業開発プロジェクト

〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32（アーク森ビル）

TEL (03) 5574-8009 FAX (03) 5574-6161